大牟田市まちづくり総合プラン（案）への意見募集の結果について

1．市民意見募集の実施概要

○ 実施期間　令和元年９月２日～9月30日

○ 計画(案)の閲覧場所　情報公開センター（市庁舎２階）、総合政策課（市庁舎４階）、各地区公民館（中央、三川、勝立、三池、吉野、手鎌、駛馬）、市立図書館、市民活動等多目的交流施設えるる、市のホームページ

○ 意見提出方法　郵送、持参、ファクスまたは電子メールで総合政策課へ提出

○ 意見数　３名より15件の意見

2．寄せられた意見の概要

| No. | 該当箇所 | 意　見　等 | 回答・考え方等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 施策<br>第１編第２章 | これからの社会は外国人とのコミュニケーションが大事であり、教育環境を見直して、グローバル時代に対応していくべきと考える。大牟田市の子供達に夢を持たせるためにも、留学制度を検討してもらいたい。 | グローバル化の一層の進展が予想される中、社会課題や地球規模課題を自ら発見し、解決できる能力を有したグローバルに活躍する人材の育成が重要です。また、言語や文化が異なる人々と主体的に協働していくことができるよう、外国語でちゅうちょせず意見を述べ、他者と交流し、共生していくために必要な力等を育成していくことが重要です。このため、まちづくり総合プランにおいては、本市の特色ある教育の取組である「持続可能な開発のための教育（ESD）」の一層の推進や英語教育の充実を図ることとしています。<br>いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。 |
| 2 | 施策<br>第２編第１章 | 新大牟田駅南側に工業団地を開発する計画が発表されたが、新大牟田駅の一日の利用客は少なく、また工業団地の面積が 10ha 未満では進出する企業があるか疑問である。 | 大牟田市は、九州自動車道をはじめ、九州新幹線、有明海沿岸道路、三池港など広域交通ネットワークに優れた都市です。これまで大牟田テクノパークをはじめ中央工業団地や勝立工業団地などへ企業が進出し、内陸型産業団地は既に完売している状況にあります。こうした中、近年の企業の進出形態としては、10,000 ㎡未満の土地を希望する企業が多い傾向にあります。このため、交通アクセスに優れた新大牟田駅南側（約 8ha）を新たな内陸型産業団地として整備するものです。引き続き、積極的な企業誘致に取り組んでまいりたいと考えております。 |
| 3 | 施策<br>第２編第２章 | 大牟田市の観光事業は、石炭産業施設として世界遺産登録し観光に取りくんでいるが、観光客が増えない。観光客が何を求めるかを理解しなければ増えないのではないか。 | 本市の観光につきましては、市内関係１５団体で構成する観光推進組織（大牟田たーんとよかとこ協議会）で、来街者調査等を実施し、ニーズを把握するとともに、福岡都市圏を中心に情報発信やイベントに取り組んでいます。<br>具体的には、世界遺産をテーマに、JR や西鉄などの交通事業者と連携した、「JR ウォーキング」や「観光列車」の利用者へのおもてなしや、市内各施設を周遊する観光タクシーの運行などを行っております。そのほか、女性をターゲットとした刀剣イベントや体験イベント、自然景観を活かした三池港の「光の航路」などを行っております。<br>今後は、新たな観光基本計画の策定を予定しており、さらなる地域資源の掘り起こしを行うとともに、関係機関との連携をさらに深め、情報発信やイベントの開催等により、来訪者の増加に取り組んでまいります。 |
| 4 | 施策<br>第２編第２章 | 延命中学校跡地に駐車場が整備されているが、そこに大牟田市の観光案内版を設置してほしい。 | 市内の主要な観光施設を紹介する観光案内板につきましては、大牟田駅、新大牟田駅、三池港、石炭産業科学館に設置しております。<br>現在、動物園には市内外より多くの方々にご来場いただいております。 令和２年度に動物園内に（仮称）絵本ギャラリーを整備することとしておりますので、より多くの方々にご覧いただく観点から、駐車場（２ヶ所）を含む動物園内において設置の検討を進めたいと考えております。 |
| 5 | 施策<br>第２編第２章 | 大牟田道の駅が芳しくないように感じる。<br>大牟田道の駅にはほとんど寄ることがない。建物も中途半端だし、商品も中途半端で魅力になる商品がない。殆どの道の駅は地産地消をメインにいろんなアイデアを駆使して販売しているのに大牟田道の駅には申し訳ないけど本気で取り組んでいる姿勢が全く見られない。思い切った改革が必要ではないか。<br>繁盛している道の駅を参考にして、魅力的で活気のある道の駅を目指してほしい。 | 道の駅「おおむた」花ぷらす館は、地域の農業振興、道路利用者の休憩機能、地域情報の発信機能、大牟田テクノパークの利便機能の４つの機能を有する施設として、平成１２年１０月にオープンしました。平成１８年度からは、施設の効果的・効率的な管理運営とサービスの向上を図るため、指定管理者制度を導入し施設の管理運営を行っております。<br>これまで、指定管理者におかれましては、地元の農作物を充実させるための「庭先集荷事業」の開始、地元の特産品の充実に向けた新規取引の拡大、地元と連携したイベント実施など、賑わいや集客向上に取り組まれておりますが、来館者数は年々減少している状況であり、地元の特産品や農作物などの品揃えがまだ不十分であると認識しております。<br>令和２年度からは、新たな指定管理者による施設の管理運営になりますが、花ぷらす館の４つの機能に沿った運営、特に、地元の特産品や農作物の充実、地域情報の発信による魅力づくりに向け取り組まれることとなっています。<br>今後も引き続き、選定された指定管理者と連携して、魅力的で活気のある道の駅「おおむた」花ぷらす館を目指してまいりたいと考えております。 |

| No. | 該当箇所 | 意　　見　　等 | 回答・考え方等 |
|---|---|---|---|
| 6 | 施策<br>第２編第２章 | せっかくの世界遺産が生かされていない。<br>世界遺産の場所へ足を運んでみたが、世界遺産そのものは歴史的なもので見る価値のあるものだが、世界遺産を見るための設備が貧弱でガッカリした。これではもう一度来たいとは思わない。<br>世界遺産を生かすには見学するための設備を充実させることが重要ではないか。予算的なものもあるがしっかりと検討していただきたい。 | 平成２７年（２０１５年）に、三池炭鉱関連施設を含む「明治日本の産業革命遺産　製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界遺産に登録されました。ユネスコでは、「世界遺産の適切な保全・管理」と「価値理解の促進」を条約締約国の責務としています。<br>このようなことから、本市においては平成２９年度に「三池炭鉱跡の保存・公開・活用に関する計画」を策定し、適切な保全・管理とともにその価値理解を促進するために、計画的に整備を行っているところでございます。<br>ご意見のとおり「産業遺産」は一見しただけではその価値が分かりづらいこともあり、計画の中では、ガイダンス施設の新設や体験型の展示を行うなど、来訪者の方がより理解できるような整備を行っていくこととしています。 |
| 7 | 施策<br>第３編第５章 | 平成 31 年度歳入予算は自主財源と依存財源は４対６であるとのこと。<br>歳出予算で民生費は41%を占め、その中で一番の問題は生活保護費の増加と考える。早急な対策をとるべきではないか。 | 民生費のうち生活保護費につきましては、近年における被保護世帯数の減少傾向と比例して減少傾向にあります。今後におきましても、生活保護法に基づく基準により審査し最低生活費を適切に支給するよう努めます。<br>また、後発医薬品の使用促進等による医療費の節減や就労支援事業の取組により経済的な自立を促進してまいります。 |
| 8 | 施策<br>第４編第１章 | 延命公園の公衆トイレは昭和時代に設置され、暗くて汚いイメージである。今の時代はトイレにウォシュレットがあるのは当たり前であり、早急な対応をお願いしたい。 | 動物園入り口に設置しております延命公園のトイレにつきましては、動物園来園者の利用が多いことから、清掃回数を増やすなど、日頃より利便性向上に努めております。<br>このような中、公園施設の老朽化が著しく、維持管理費が増大しており、投資的経費が圧迫される財政状況においては、公園施設の安全性や機能確保を維持していくことが最も優先すべき課題と考えており、ウォシュレットの設置は難しいと考えております。 |
| 9 | 施策<br>第４編第１章 | 新栄町駅前地区再開発事業の計画内容をみると、ホテル、駅前広場、高齢者住宅、賃貸住宅、駐車場事務所、これで事業費 119 億円という金額に驚いた。あまりにも市民感覚とかけ離れた計画であると考える。<br>市の負担 70 億円はどこから出るのか。 | ご案内の計画は、市が平成 27 年度に策定しました推進計画ですが、この計画策定では、施設の検討と併せ、採算性の確認を行っております。<br>当再開発事業は、民間主体による組合施行で行われることから、推進計画での総事業費約 119 億円の財源については、事業主体である再開発組合や民間事業者の負担が約 60 億円、国・県・市の行政側の補助金が約 59 億円であり、その内、市の負担については、約 17 億円となっておりました。<br>なお、この推進計画については、現在、再開発準備組合で進められている事業再構築の取組みにより、施設計画や資金計画は見直される予定となっており、市といたしましても、引き続き、事業採算性の確認を行っていきたいと考えております。 |
| 10 | 施策<br>第４編第１章 | 新栄町駅前は若いクリエーター達にマネジメントを任せるなど、これからの若者に未来図を作成させてはどうか。 | 市街地再開発事業につきましては、専門的な知識と経験が必要になりますことから、実績のあるコンサルタント等の活用が必要と考えております。<br>今回、ご提案をいただいております若い力を活用することも大切なことと考えておりますので、今後の参考とさせていただきます。 |
| 11 | 施策<br>第４編第１章 | 新大牟田駅は利用者が少なく採算が取れているか心配である。整備に 25 億円かかっており、きちんとした検証はされているのか。 | 新大牟田駅に関する整備費用については、新大牟田駅駅舎に対する建築費用への市の負担はなく、新幹線の整備に関する市の負担金として、約２億円となっております。<br>なお、新大牟田駅周辺地区整備（土地区画整理事業）については、公共施設整備による交流拠点の形成、周辺の豊かな自然環境と調和した快適な住環境の整備を行ってきたもので、事業費は約 19 億６千万円となっております。 |
| 12 | 施策<br>第４編第１章 | 新栄町の再開発が一向に進まないのは何が原因なのか。<br>思い切って１０代から２０代の若者達を中心にした街づくりをしてみてはどうか。若い人たちが楽しく買い物ができる環境が大牟田にはない。若い人たちが集まる環境を整えることにより、そこに自然と人が集まり雇用にも繋がってくるのではないか。<br>東京には手本となる店が沢山あることから、参考にして本気で取り組んで頂きたい。 | 現在、新栄町駅前地区市街地再開発事業は、事業への協力を行うこととなっていた民間事業者（1 社）の撤退により、改めて協力いただける民間事業者の選定と、計画の見直しなどの事業再構築の取組みが必要となったことで、予定していた進捗が図れていない状況にあります。<br>そのため、現在は、再開発事業の実現に向けて、施行主体である再開発準備組合を始め、大牟田市・商工会議所などが連携し、アンケートやヒアリングを行うとともに、他地区の参考事例等の視察も行いながら、早期に事業再構築が行えるよう取組みを進めてまいります。 |

| No. | 該当箇所 | 意　　見　　等 | 回答・考え方等 |
|---|---|---|---|
| 13 | 施策<br>計画　第３章 | 前総合プランと比し、今回はさらに内容・記述が洗練されており、このVisionが実現したら素晴らしい大牟田が誕生すると確信している。<br>ただ、問題は、これを実現させるための財源の確保・裏付けがあるのかということ。節約すべき所は、少額といえども節約すべきと考える。<br>そこで、まちづくり総合プラン（案）の89ページ視点４、広域連携の推進の中の「大牟田・荒尾地域振興推進協議会」は、今から数10年前、大牟田・荒尾両市の境界紛争の結果誕生したものであり、その中身も新聞報道で見る限り、進行中の「有明圏域定住自立圏構想」の推進の中で十分に包含できるものであるので、議員の懇親会程度のものであれば、是非「同構想」の中に包含し、条文から「同協議会」を削除して欲しい。 | ご指摘の通り財源確保は必要であり、節約もその方策として重要と考えていることから、令和元年度からすでに協議会の負担金を減額しています。<br>また、ご指摘の通り定住自立圏に包含できる課題もありますが、境界紛争に端を発する課題は個別自治体同士の課題であり、定住自立圏構想とは性質が異なるため完全に包含することはできないと考えます。<br>協議会は両市行政と議会で構成しており、本市行政の考えのみで今後のありようを発信すべきではないことから、協議会のありかたについてはご意見も踏まえながら検討してまいりたいと考えています。 |
| 14 | 施策<br>計画　第４章 | 大牟田市庁舎整備については、本庁舎の耐震性、老朽化対策、機能強化、バリアフリーなどの問題があり、本庁舎の解体、建設の方針が出された。<br>しかし、庁舎の本館は登録有形文化財で歴史的建造物であり、大牟田市のシンボルである。<br>市民アンケートでは賛成が６割で、市議会や市民説明会では反対の声が多かった。<br>本庁舎の解体、建設費に必要な82億円の資金はどこから出るのか、また現状のままでは維持管理費が多額になると説明するが、年間いくら費用がかかるか、返済方法や市民の負担はあるのか説明が無い。<br>大牟田市の財政状況では、高額な資金は出せないと思うので、財源確保はきちんと行うべきである。 | 市庁舎の整備に要する事業費は高額となるため、本市の総合的な政策の推進と財政の健全化を図りつつ、事業費の精査や庁舎等建設積立基金の計画的な積立てを行うとともに、国の財政支援制度の活用などに努めながら、市民の負担を少なくしていきたいと考えております。 |
| 15 | | 外国人労働者も増加して行く中で、外国語に対応できる人材が求められている。市の窓口を早急に整備する必要があるのではないか。 | 国では、生活者としての外国人に対する支援として、都道府県・政令市向けに行政・生活全般の情報提供・相談を多言語で行う一元的窓口の整備を進めています。福岡県では「(公財) 福岡県国際交流センター」内に「外国人相談支援センター」が設置され、市としても連携を図りながら出張相談会の実施や多言語での情報提供などを行っているところです。<br>今後、市内の外国人の居住者数などの状況を見ながら、整備の必要性を検討してまいりたいと考えています。 |